

令和 4 年度事業報告

1. 令和 4 年度事業の概要

地区社協として日々の諸活動を通じ、「支え合い・助け合い」が地域住民には当たり前のものとして、互いに思い・支え合える精神を育んでいけることを願いつつ「地域共生社会の実現」を目指し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、以下に示すような活動を展開し、推進しました。

【事業の具体例】

(1) 地域福祉事業（小域福祉ネットワーク活動）

各小域福祉ネットワークの取り組みについては年々地域に定着しつつあり、更にネットワーク自体の知名度と事業をあげていく必要がある。それぞれのネットワークでは、地域性に考慮した様々な活動を行っており、地域住民からも一定の評価を受けていること、また活動に関わるボランティア同士の良好な人間関係が築かれつつあると、受け取れる。

また、年に 1 度、五井地区内小域福祉ネットワーク連絡会議を開催しており、各小域福祉ネットワークの取り組み状況の発表や情報交換を行うことで、双方の交流だけではなく、活動をしていく中での良い刺激となっている。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

【各小域福祉ネットワークの活動内容】

◎白金小学校区スマイルネットワーク

- ・矢野踏切、田中踏切、信号機・交差点等の危険個所での登下校時の見守り活動を実施。児童が安心・安全に登下校ができるよう、住民相互の理解と協力のもと、見守り活動に取り組んだ。
- ・挨拶運動も通年実施。交通事故や不審者から児童を守り、礼儀正しい子どもに育つよう、意識改革を行った（月～金 登下校時）
- ・地域・学校へネットワークの広報活動を実施。ネットワーク活動を知ってもらい賛同者の発掘のため、チラシを作成。町会回覧、掲示板への掲示、学校への配布により周知を図った。
- ・防犯講習会&交通安全講習会を開催。安心訪問員フォローアップ研修で講師を招き、地域の方に参加してもらい防犯と交通安全について研修を行った。また、安心訪問員フォローアップ研修を行い活動の中の疑問点を聞き、活動について理解を深めていただいた。
- ・安心生活見守り支援事業の実施。4 名の見守り希望者を 8 名の安心訪問員で見守りを行った。
- ・月に 1 回役員会を開催し、地域の様々なニーズに対応できるよう検討している。

◎わかば福祉ネットワーク

- ・「サロン部会」が高齢者の集いの場として開催してきた月1回の茶話会も新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、感染状況を見ながら開催の可否を検討してきたが、令和4年度は結果的にすべての茶話会を中止する事になった。
- ・「見守り部会」は安心生活見守り支援事業を実施、見守り支援を希望する「一人暮らし高齢者世帯等」が地域で安心して暮らせるために、感染予防対策をとりながら、声掛けや訪問活動をし、定期的な見守りを行っている。
11名の見守り希望者を13名の安心訪問員で見守り活動を行っている。
近年安心訪問員自身も高齢化し、事業継続に新たな課題（後継者問題）に取り組む必要がある。
- ・役員会は感染対策を行いながら、必要に応じて開催をした。
- ・令和4年度に関しても諸々の活動が通常の状態には戻られなかったことから、「小域福祉ネットワーク推進事業補助金は」申請をしない事とした。

◎千種小学校区小域福祉ネットワーク

- ・毎月1回登校時のあいさつ運動を千種小・中学校にて実施し、防犯・安全確保・見守り活動に努めた。活動中は、ベストと帽子を着用し活動周知を図るとともに、のぼり旗や横断幕を活用することで、意識の向上にも努めた。
- ・独居高齢者、高齢者世帯、身障者を対象に定期的に訪問、声かけをして安否確認を行った。
- ・活動内容を地域住民に周知し、理解、協力して頂くために広報誌を発行した。1月と7月の年に2回発行し、地域内の13の町会に回覧を依頼した。
- ・ネットワーク構成員による総会は開催できず、議案を各構成員に郵送し、返信はがきによる書面議決を総会に替えた。役員会および三役会は隔月に開催し、地域の問題点の把握や解決を検討した。

◎東海小・中学校区小域福祉ネットワーク

- ・広報誌「いきいきネット通信19号・20号」を発行した。小域福祉ネットワークの情報を幅広く伝えるため町会の回覧を依頼した。
- ・高齢者の見守り活動はコロナ禍のため自粛した。基本的には町会ごとの見守りとして町会によっては回覧板での見守りを実施。10/2 東海・海上町会長との情報交換を実施。2/26 共生型サロン検討会を開催。
- ・登下校時の見守り体制の強化、児童との交流の場をつくることで、子供たちの健全育成の推進に努めた。
- ・サロン活動を実施。7/22 出前講座「お出かけくん（地震編）と茶話会」、10/26「地区対抗輪投げ大会と茶話会」、12/12「ふる里の歴史を学び地区民との交流を図る会」、2/22「フラワーアレンジメント教室」を開催した。

◎国府小学校区小域福祉ネットワーク

- ・毎月1～2回の見守り（訪問 日常の会話）を通して登録者の安否確認、声掛けによる意思疎通を行った。
- ・村上忘年会は、高齢者への感染状況の改善が見られないため見送りとした。忘年会の代わりにネットワーク役員・町会役員がペアとなり直接対象者宅を訪問、入浴剤をプレゼントして近況を確認した。訪問に際し地域包括支援センター国分寺台の職員にも同行して頂き、その場で相談等もでき、住民の方から感謝の言葉をいただいた
- ・毎月1回の登校時見守りの実施、児童の安全確保は基より積極的な会話で挨拶のできる児童育成応援を実施した。
- ・世代間交流として予定していた、鮎の放流は稚魚の確保ができず、中止したが、国府小学校資源回収（年2回）、校庭整備（年1から2回）応援を実施した。
- ・町会に協力して、安全 安心な地域づくりの実現を目指し年に2回ほどパトロールに参加、防犯灯確認 道路状況確認 不法投棄確認と撤去を行い、危険の解消に務めた。

◎五井福祉ネットワーク

- ・見守り支援事業のモデル地区とした、平田地区での安心見守り支援事業を推進した。4町会に対して支援事業について説明し、事業実施について協力要請を行った。その後、7月に安心訪問員基礎研修会を開催し、訪問員資格者8名増員、合計31名となり、本仲町会での見守り支援事業の具体化に繋がった。
- ・朝の挨拶運動五井小学校正門等で挨拶運動ののぼり旗を掲示して、7月を第1回として計4回実施し、五井小学校児童の登下校時における見守り活動を実施した。
- ・五町会連合主催の上総更級公園を中心とする防犯パトロールは、コロナ感染防止で自粛していたが、令和4年末から再開した。
- ・広報誌第3号を令和4年9月に発刊第4号を令和5年3月に発刊。取材活動のための「五井福祉ネットワーク広報部」と標記した取材用腕章を作成し取材活動を実施。
- ・地域住民の地域課題や生活課題の把握、ニーズなどを掘り起こし、新型コロナウイルス感染の影響下で如何に活動を行うか等、役員会議の中で対応策の検討を行い、活動に対する企画や運営を行った。

◎京葉福祉ネットワーク

- ・高齢者の定期的な見守り活動として、見守り訪問希望者への訪問活動を実施した。対象者13名、延べ訪問回数148回。
見守り訪問希望・安心訪問員募集のチラシによる宣伝活動を行った。安心訪問員のフォローアップ研修会はコロナ禍により延期。
- ・小学校児童の登下校時のスクールガードを毎日実施し、スクールガード、地区パトロール時にあいさつ運動も実施した。
- ・防犯パトロールの実施各町会との連携による防犯パトロールを実施した。
- ・広報紙を作成し、地域住民へ宣伝活動、支援・協力を呼びかけた。

- ・ポイ捨て、放置ごみ等環境美化パトロール実施した。
- ・隔月役員会を開催し、事業計画に基づく具体的活動計画、対応策の検討を行い、活動に対する企画や運営を行った。推進委員会を2回開催、いずれも書面議決、書面報告とした。
- ・活動用ユニフォームを追加制作し推進委員他に配布意識の向上を図った。「京葉福祉NW」名入りクリアファイルを制作し推進委員他に配布、広報活動、活動意欲の向上に繋げた。

（2）高齢者支援事業

ふれあい・いきいきサロン事業について

1) 食事サービス（会食会）

新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いており、共生型サロン移行に伴い廃止となった。

2) 茶話会

茶話会事業は、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方々に、ふれあいの場を提供し、地域住民や地域の方々の交流促進を図るために、各小域福祉ネットワークにおいて実施をしており、令和4年度は地区社協主催で2時間程度の講演を盛り込み、茶話会を開催（参加者数31名）した。

（3）子育て支援事業

ふれあい・子育てサロン事業について

平成17年度から開催されている「子育て会1・2・3」は、就学前の乳幼児とその保護者を対象に、子育て家庭支援員や民生委員児童委員・主任児童委員の方々を中心に、五井公民館職員の協力を得て、原則毎月第4月曜日に五井公民館において実施している。

毎回、多くの参加者であふれ、参加者同士の交流の場にもなっている。また、五井公民館の主催事業「子育て広場ほっと」との共催でクリスマス会等を実施し、大いに盛り上がった。延べ参加者数315名。（※8月と1月は休み。）

（4）地域活性化事業

毎年、梨の木公園・五井中央通り周辺において開催されている「五井大市」が3年ぶりに開催され、12月3日・4日と2日間、参加し地区社協のPR活動と募金活動（歳末たすけあい運動）を行った。3年ぶりの開催と部会員の精力的な呼びかけもあり、募金の金額（166,583円）は過去最高となった。

（5）福祉教育推進事業

県からの指定を受けた10年前（指定については3年間で終了）より、引き続き高齢者・障がい者疑似体験を取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、見送りとしている。五井地区内の各学校とも連携を図りながら、地域全体を花いっぱいにするために、球根や肥料等を五井地区内の各

小・中学校、高等学校及び小域福祉ネットワークに配布を行い、地域への普及活動として展開している。

(6) 相談事業

毎月（8月・1月を除く）、五井公民館で相談所を設け「あったか相談所五井」を開設している。誰でも気軽に立ち寄ることができるように努めており、毎回、地区社協役員を相談員として配置している。定期的を開催することで、地域住民が地域で安心して暮らすことができるように努めた。

(7) 広報活動

五井地区社協の広報紙「つくし」を、年に2回町会回覧において配布をした。地域住民の方々に地区社協活動の内容を周知する良い機会となった。

(8) 地区行動計画策定・推進事業（五井地区行動計画推進委員会）

五井地区の地域特性に応じた地域福祉活動を推進するための基本的な方針となる「五井地区行動計画」を平成30年10月1日に策定した。その後、計画推進方策の検討や進捗状況の確認・評価、また必要に応じた計画の見直しなどの進行管理を行う組織として、「五井地区行動計画推進委員会」を設置。今年度、「地域共生社会」の考え方を踏まえて、計画の見直しを行った。

(9) 高齢者地域支え合い事業（五井地区第2層協議体）

地域全体で支える仕組みづくり（地域包括ケアシステムの構築に向けた環境整備）を進めるための「話し合い・議論の場」を行う組織として、設置された「ごいの未来を考える会（五井地区第2層協議体）」は、地域の課題・ニーズをより一層把握し、日常生活の支援に繋げられることを目指し、圏域を3つ（五井・白金・若葉）（千種・京葉）（東海・国府）に分け五井・白金・若葉の圏域でケース検討会議を実施した。

(10) その他

関連会議・事業関係の詳細は別紙参照

2. 会議関係

月	会 議 名	内 容
4	役員会	・ 理事会・総会の資料確認 ・ 理事会・総会等のスケジュール確認
4	理事会	・ 総会の提案事項について ・ 役員・理事の一部変更について
4	ごいの未来を考える会(第2層協議体)打合せ	・ マッチング会議に向けた打合せ ・ 地域包括支援センターとの事前調整
5	定期総会(書面開催)	・ 令和3年度事業報告について ・ 令和3年度収支決算報告、地域福祉基金会計報告、 ・ 令和3年度会計監査報告について ・ 令和4年度理事・評議員・役員の改選について(案) ・ 令和4年度事業計画(案)について ・ 令和4年度収支予算(案)、地域福祉基金予算(案)について
6	役員会	・ フードパントリーについて ・ 新たな相談支援体制について ・ ふれあい・いきいきサロンについて
7	役員会	・ 会長の選任について ・ 地区社協規約について
8	役員会	・ 会長代行について ・ 副会長の役割分担明確化について
8	五井地区行動計画推進委員会打合せ	・ 五井地区行動計画の見直しについて
10	ごいの未来を考える会(第2層協議体)会議	・ マッチング会議を受け、対象者により近い関係者と支援会議
12	五井地区行動計画推進委員会打合せ	・ 五井地区行動計画について(素案提示)
12	五井地区行動計画推進委員会及びごいの未来を考える会(第2層協議体)会議	・ 委員名簿について ・ 五井地区行動計画について ・ ごいの未来を考える会について
12	役員会	・ 子どもの見守り強化事業について
R5 2	役員会	・ 事業について ・ 会則について ・ 千種地区について ・ 地区行動計画について ・ 理事会・総会の日程について
R5 3	理事会	・ 五井地区行動計画について ・ 千種地区関係について ・ 地区社協規定について

3. 事業関係

月	事業名	内 容																								
通 年	ふれあい・いきいきサロン事業	☆ 食事サービス(会食会) 前年度から新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いたことと「地域共生社会」実現に向けて共生型サロンへの移行に伴い茶話会へ移行し、実施した。																								
	子育て支援事業	☆ 子育て会1・2・3 子育てについて悩みを持つ親の相談会、交流会及び講習会を開催するなど子育てを支援するため、子育て会1・2・3を行った。 会 場:五井公民館 10回開催(8月・1月はお休み)																								
		<table><tr><th>実施日</th><th>参加者数(子どもの数)</th><th>実施日</th><th>参加者数(子どもの数)</th></tr><tr><td>4月25日</td><td>9(10)</td><td>10月31日</td><td>20(19)</td></tr><tr><td>5月23日</td><td>10(12)</td><td>11月28日</td><td>7(8)</td></tr><tr><td>6月27日</td><td>9(12)</td><td>12月13日</td><td>29(30)</td></tr><tr><td>7月25日</td><td>6(7)</td><td>2月27日</td><td>8(9)</td></tr><tr><td>9月26日</td><td>30(32)</td><td>3月27日</td><td>20(28)</td></tr></table>	実施日	参加者数(子どもの数)	実施日	参加者数(子どもの数)	4月25日	9(10)	10月31日	20(19)	5月23日	10(12)	11月28日	7(8)	6月27日	9(12)	12月13日	29(30)	7月25日	6(7)	2月27日	8(9)	9月26日	30(32)	3月27日	20(28)
		実施日	参加者数(子どもの数)	実施日	参加者数(子どもの数)																					
		4月25日	9(10)	10月31日	20(19)																					
5月23日		10(12)	11月28日	7(8)																						
6月27日		9(12)	12月13日	29(30)																						
7月25日		6(7)	2月27日	8(9)																						
9月26日	30(32)	3月27日	20(28)																							
参加者数 延べ315(167)名																										
☆ 子育て広場ほっと 10月と12月度は、五井公民館と共催で実施。																										
相談支援事業	☆ 「あったか相談所五井」 誰でも気軽に立ち寄ることのできる相談所を開設し、地区社協役員を相談役として配置した。 会場:五井公民館 10回開催(8月・1月はお休み)																									
小域福祉ネットワーク活動(支援)	☆ 白金小学校区スマイルネットワーク ☆ わかば福祉ネットワーク ☆ 千種小学校区小域福祉ネットワーク ☆ 東海小・中学校区小域福祉ネットワーク ☆ 国府小学校区小域福祉ネットワーク ☆ 五井福祉ネットワーク ☆ 京葉福祉ネットワーク																									
7	広報紙発行	☆ 広報紙『つくし』第33号発刊 2,000部発行																								
R5 1	広報紙発行	☆ 広報紙『つくし』第34号発刊 2,000部発行																								